

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式ウェブサイトにてご確認ください)

●公共機関

- ・区役所
・会館
・会館
・会館
・郵便局
・郵便局
・郵便局
・郵便局
・放送局

●元住吉西口(ブレイメン通り/井田中ノ町商店街通り)

- ・音楽教室
・花屋
・鉄板焼
・ヘアサロン
・カフェ
・果物
・パン
・コーヒー専門
・イタリア料理
・カイロ、整体
・音楽教室
・コインランドリー
・理容室
・接骨院
・ヘアサロン
・デザイン制作
・カフェ
・時計・貴金属

●元住吉東口(オズ商店街通り)

- ・サンドウィッチ
・介護センター
・お茶
・鍼灸院
・介護センター
・古本・CD
・調剤薬局
・飲み喰い処
・イタリア料理
・STEAK
・旅する珈琲屋
・Gステーション

●元住吉近郊

- ・喫茶室
●武蔵小杉近郊
・喫茶店
・喫茶店
・紅茶専門店
●東横線沿線
・調剤薬局
・写真
・レストラン&バー
・調剤薬局
・カフェレストラン
・ジャズ喫茶

- 中原区役所5Fなかはらば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
川崎ブレイメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
川崎木月大町郵便局 川崎木月大町郵便局中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617
かわさきFM 中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイスTel.044-712-1791
SouleaveMusic School 中原区木月伊勢町10-1三起ビル302 Tel.044-750-8992
Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
ゆうき亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
キャメルヘアデザイン 中原区木月1-32-10 中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
フルッコ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
MUI (旧もとえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
オステリア ボッカーノ 中原区木月3-17-16 新井ビルB1F Tel.044-411-1003
ABCカイロプラクティック 中原区木月3-20-16 柳沢ビル1F Tel.044-434-4342
島倉 学ミュージックスクール 中原区木月3-35-1ART FLATS B1F Tel.044-567-5490
マンマチャオ元住吉店 中原区井田中ノ町4-1 メゾンアッシュTel.0120-027-217
Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町5-3 関根ビル1F Tel.044-755-0273
井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
アルケファクトリー 中原区井田中ノ町8-43 Tel.090-4362-5413
フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
つだとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022
ベトナムウィッチThao' 中原区木月2-1-1 Tel.044-982-3299
みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月2-2-3 メゾンミール元住吉 Tel.044-430-6963
金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
和式整体&整心の「響氣」 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880
ツクイ 中原区木月2-8-5MKビル1-B Tel.044-431-0027
凸つと凹つと 中原区木月2-10-3
綱島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
自在屋 中原区木月4-10-6 Tel.044-433-5644
ステーググラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
cafe OrangeBlue 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビルTel.045-211-2200
ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863
シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-599-3499
Cafe TEMO(テモ) 中原区上小田中6-1-5 Tel.044-755-8234
Coffee Spot Life(ライブ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
Tea House ローズマリー 中原区小杉町3-70-4 ホーユウパレス1F Tel.044-733-1076
駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
Public House ぴあにしも 川崎市小川町16-15ヒロサワビル103号Tel. 044-201-1668
オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
カンファ・ツリー 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビルTel.045-211-2200
マシュマロ 横浜市中区山下町214 巴里堂ビル2F Tel.090-2202-3294

※上記サポーター記事は無料です。

MAGAZINE 発行人 塚田親 スタッフ 浅井晴香 発行音楽好きな友の会 TEL:090-9398-2889 2019-1-16-800 Printngkx

MAGAZINE

●Motsumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories

1月6日(日) 13:30~
音友会レコード倶楽部
軽音楽(Light Music)
元住吉駅側音友ハウス

1月17日(木) 12:10~
ランチタイム・
ロビーコンサート
川崎生涯学習プラザ

1月20日(日) 13:30~
音友会レコード倶楽部
Jazz Date(ジャズファンの集い)
元住吉駅側音友ハウス

Susumu Nagase

永瀬 晋(ナガセススム):「ブルースロックピッチ」をキャッチコピーに、都内、神奈川県内イベントを中心に音楽活動中。元住吉、木月伊勢町の音楽教室ソウリーヴ・ミュージックスクール代表も務める。弾き語りとは思えない高度な楽器演奏と低音ボイス、ループマシンを駆使した弾き語りは一見の価値あり。ロック、ブルースを軸に様々なジャンルをミックスしたスタイルがギター雑誌、その他メディアで称賛され、オーストラリアのMATON「メイトン」ギター使用アーティストとしてサイトに掲載。ギターデュオ「ナガタク」で2枚のインストゥルメンタルアルバムを発表。2017年ソロミニアルバム「Guitar Vagabond EP」を発表し本格的にソロ活動も開始。現在ソロ活動の他、サムライミュージシャンズ、テンペストスタジオギタリストとして、レコーディング参加やサポートも多数あり、音友会スタッフとして企画・運営・演奏者で元住吉駅1分の「音友ハウス」でアコースティックライブを開催中。

Photo: Yoshiro Yasuda

元住吉の気軽な音楽会



後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会
公益財団法人 川崎市国際交流協会
人形劇団ひとみ座 / rk-factory

January
2019 1月号

連載01 akkobird's JAZZ-4-U 高橋明子

ポッキーの日のアコースティックライブ!



新年あけましておめでとうございます。
新しいスタートと共に初登場!させていただけます、ポーカーのakko(高橋明子)です。
どうぞ宜しくお願いいたします!!
昨年11月11日(日)にギターの永瀬晋さんとデュオでアコースティック・ライブに出演させていただきました。私にとって「音楽好きな友の会(音友会)」で初演である今回は、ぜひ、音友会の皆様と繋がりを大切にしたいと思ひ、毎月音友会が発行しているMマガジンのバックナンバーを再読してそこから曲を決めて演奏することにしました。このMマガジンは音楽大好きなみなさんの気持ちがぎゅぎゅ詰まっていると共に、元住吉&川崎の街を中心にいろいろな情報もたくさん掲載されていて、地域と共に歩んでいる「音友会」、すてきです!!今回のライブのコンセプトは「アコースティックジャズ」。ギターとボーカル、たまたまキーボードで、どこまで皆様に楽しんでいただけるか、と考えてまいりますと、「ジャズ」の歴史を綴って行こう、ということになりました。トークしながら、レコード(CD)ききながら、演奏を楽しんで、とちょっと変わったステージがスタート!「ジャズ」と言ってもビッグバンド、コンボで、ボーカル、ピ

パップ、ポッサ・モダン・フリー!?!、といろいろな分野があり、その各分野の追求の仕方は多様なことはもちろん、更に今の世代が先輩たちの残してくれたものをもとに、新しい解釈を追求することが好きな方もいらっしゃることでしょ...。そのあたりの大きなくくりで、ジャズの歴史をご紹介していきます。選曲は慎重に行わせていただきました(笑)。スウィングジャズ時代、スクリーンミュージック時代、ビバップ、モダン、ポッサ、..。今回は大きくとらえて、そこから曲を選んでいきます。みなさんがよくご存知の曲の数々を会場の空気、永瀬さんと私との音のコミュニケーションを楽しみながら、その場でしか味わえない、楽しい瞬間をたくさんつくることができました。初共演の永瀬さん、みなさんがご存知のようにクールな中にしっかりとしたご自身の表現がいたるところに、いいタイミング、感覚で表れていて、ご一緒させていただいた、私、akkoも「初めての会場。。ドキドキ。。」という緊張をほぐしていただきました。オーディエンス(聴きに来てくださった方たち)はジャズのことならなんでも語れるという方たち。皆様がよく聴いていたレコードから、映像から、いろいろな角度からジャズについて、音楽について、世代を越えて語り合える幸せな気持ちに浸っていました。ライブ演奏というのは、自分だけがガンバっても楽しめるものではありません。共演者、オーディエンス、そして会場の空気が一体になって、はじめてその場でしか生み出せない、美しい「瞬間」があります。この一瞬の「Oh, Yeah!!!」な気持ち、ライブでしか味わえませんが、みなさんも、その「瞬間」を一緒に体験しませんか?そんなミラクルが生まれた時に、いつも私は思います。「みなさんの人生が、毎日が、カラフルなものになりますように。」Life Is Beautiful!!! 今回のライブを企画してくださった音友会のスタッフの皆様にご心よりお礼申し上げます。今年もどうぞ、よろしくお願ひいたします。

川崎市国際交流センター

Winter Gathering &
ウーロンゴン大学生と交流する会
1月26日(土) 13:00開場 / 13:30開演 料金:無料 要申込
今年もWinter Gatheringの季節がやってきました。
今回はオーストラリア・ウーロンゴン大学生が参加します。
外国人、日本人ともに、楽しく交流しましょう!

- 外国人が見たかわさき「フォトコンテスト」表彰式
●世界の音楽・舞踊ステージ&交流ワークショップ
●中国の歌と日本の歌(二重唱・デュオ)
●ウーロンゴン大学の発表
●ベリーダンス Donya(ドニヤ)
●切り絵のパフォーマンス
●Lumand Japan(フィリピンバンド)による演奏と歌
●世界のお菓子・お茶試飲コーナー(中国、モンゴル、フィリピン、ブラジル)
●ピアノ演奏 海老沢美佳
●情報コーナー・体験コーナー(中国切り絵)

川崎市生涯学習プラザ 1階ロビー

第73回 ランチタイム・ロビーコンサート
1月17日(木) 12:00開場 / 12:10開演 / 12:40終演予定 / 料金:無料
どなたでも気軽に音楽を楽しめるアットホームなコンサート
【出演】Rapport(ラポア)

【プロフィール】Rapport (ラポア)は、ピアノ・YUKA(ユカ)が作曲、ボーカル・MARKA(マーカ)が作詞した共作曲を中心に演奏する女性ポップスデュオ。それぞれの音楽的経験を活かした色とりどりの作品を、ポップなピアノサウンドとしなやかな歌声で展開する。国立市「ケルティックムーン」での月例カフェライブ、各自自治体施設ロビーコンサート、日本赤十字社・献血ルームでのボランティア演奏などの他、ポイストレーニングのワークショップも展開している。
【曲目予定】
1 浜辺の歌 (唱歌)
2 HANAUTA (オリジナル)
3 草原の唄 (オリジナル)
4 テネシー・ワルツ (スタンダード)
5 愚かな若者の話 (オリジナル)
6 You're The One (オリジナル)

音友ハウス 元住吉駅西口徒歩1分、フルッコ2F

音友レコード倶楽部 Jazz Date
ジャズファンの集い
1月20日(日) 13:30~
低音楽器の魅力その2~J.J.ジョンソン特集

スウィング・ジャズ全盛期の1941年にクラレンス・ラブ楽団に在籍しプロ活動を開始。ベニー・カーター楽団やカウント・ベイシー楽団などでキャリアを積みトロンボーン・プレイヤー・ウィンドリングと結成した2トロンボーン・コンボ「J&K」は有名でした。また、前回紹介したジェリー・マリガンと同様、「クルールの誕生」でマイルス九重奏団にも参加して

島倉 学ミュージックスクール
島倉 学ミュージックスクール
プロ志望専門ヴォイス・トレーニング
30分無料体験レッスン実施中!
【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分
島倉音楽スタジオ
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106号)
【お問い合わせ】
島倉音楽事務所 営業日:火曜~土曜 12:00~21:00
代表 島倉学 定休日:日曜・月曜
TEL 044-567-5940

Music Enjoy Club
「音友会」の活動拠点は
元住吉駅西口徒歩1分、
フルッコショップ「フルッコ」2F。
音友ハウスです。
音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/
090-9398-2889 (担当:塚田)

連載28 私とジャズ 松波陽介

日本ジャズテナーサックスの巨匠、片山広明。

祝2019年、あけましておめでとうございます!旧年も紙面上では大変お世話になりました、今年もどうぞよろしくお願ひ致します!

と、挨拶も早々昨年は音楽界のみならず、様々な分野の巨匠たちが逝去されました。新年から少々湿っぽい内容になってしまいますが、この事は書かずにいられずキーボードを走らせておきます。昨年の11月に日本テナーサックス界の重鎮、片山広明氏の訃報が飛び込んできました。私が片山さんの事を知ったのは、私が大学1年生の頃でありました。当時ジャズのいろはを知らない私が、波さ知らズというバンドを知りその中にとつともない存在感のテナーサックス奏者がいるということに気がつき、そこから片山さんの虜になったのです。虜になった理由はいくつかありました。まずは音量です。波さ知らズオーケストラは大変大所帯のバンドなのですが、どの曲でもメロディーを演奏しているときには必ずと言って過言ではないくらいは抜けて片山さんのテナーの音が聞こえているのです。2つ目の理由はダイナミックなソノの演奏です。ちょっぴりフリーキーな演奏の中に確実にキャバレーのバンドマンとして活動して来た土台となる演奏技術が垣間見れるソノはもう圧巻そのものです。3つ目はバラードを吹かせたら右に出るものはいないと云えるほどに情感に満ち満ちた演奏です。メロディー楽器奏者にとって綺麗な美しいメロディー



▲Quatre/Hiroaki Katayama Quartet

を演奏するという事は非常に難しいことなのです。(例えば、皆さんが綺麗なメロディーを歌う時、恥ずかしかったり歌い回しが難しかったり、なんてご経験はないでしょうか?)しかし、片山さんのバラードのメロディーは、自分自身でメロディーライ



▲片山広明

Jazz & Light Music

音友レコード倶楽部Report ONTOMO MUSIC RECORD CLUB ACTIVITY REPORT

音友会Report 2018年11月音友会の報告

軽音楽

正にフュージョンの申し子、ニール・ラーセン

私が学生時代の頃に「フュージョン」という言葉が音楽界では行き交い始め、その中でもミー・リビューマーが制作するアルバムを発表したホライゾン・レーベルは脚光を浴びていました。その中の一人として紹介されたのが今回、特集したニール・ラーセンというキーボード奏者です。特にオルガンを使用した演奏は定評がありました。古くは幻のグループ「フル・ムーン」に、その後「ラーセン・フェイトンバンド」というバンドに在籍し、ソロアルバムを発表したり、セッション・ミュージシャンとして活躍してきました。そういえば昔、渡辺貞夫のブラバスクラブというイベントの中で「ラーセン・フェイトンバンド」が来日した事もあり、私も聴きに行きました。良き相棒であるバジー・フェイトン(Gt)と共に二人共ルックス、演奏共にめっちゃカッコよかったという印象でした。今回、その幻の名盤「フル・ムーン」(写真①)から「オービット」(写真②)まで計9枚の

アルバムからピックアップしてLPレコードで聴いていただきました。紹介した曲を含む全てのアルバムをこの機会に聴き直しましたが、どの曲も完成度が高く、改めて凄い人だと感心しました。最新アルバムは2015年発表(MP3データのみ発売)「Forlana」ですが、全ての楽器をニール・ラーセン自身が演奏している様で、ますますジャズっぽさがかかった演奏となっています。それ以外にも毎回コンピレーション・アルバムを作成してくる方は、今回、『原曲とカバー曲の聴き比べ特集』という事でマジョリノエルの「そよ風に乗って」は竹内まりやのカバー(写真③)、「ムーンフラワー」のサンタナはルイス・ヴァン・ダイク(写真④)のカバー等、また「マイフェアレディ」より「運がよけりゃ」をパーシーフェイスのカバーアルバム(写真⑤)等で聴きました。次回のコンピレーションアルバムがまた楽しみです。(フレドリック・ジョーンズ記)



▲①Full Moon/Full Moon ▲②Orbit/Neil Larsen ▲③Longtime Favorites/Martva Takasahni ▲④Live/Louis Van Dijk & The Rosenberg Trio ▲⑤My Fair Lady/Percy Faith & His Orchestra

Jazz Date ジャズファンの集い

ジャズファンの集いの場として 定着しつつあるジャズデート

初参加3名を含む13名のうち9名から計13曲の披露があり、持ち寄りタイムは大盛況となりました。アーチャー・シェップ「フレンチ・バラッズ」(写真①)から「枯葉」で幕開けとなりました。現代に活躍するイタリア人アーティスト、アルゼンチンのメンバーによるトリオ、ハンプトン・ホーズ、コンコード・ジャズ・レーベルの紹介と続き、中間派の名トランペッターのルビー・ブラフ、スウィング派トランペッター菅野淳史の2017年録音アルバムなどが登場しました。私としてはエリントン・サンバーの「イスファハン」を自作「極東組曲」(写真②)とジョー・ヘンダーソンとクリスチャン・マクブライドのデュオとの聴き比べが、名曲の理解を深められて良かったです。でも極め付きは秘蔵アルバムを2回続けて持参されたゲストのお話でした。前回のピング・クロスビーの貴重アルバムに続き今回は「日本のジャズ・ポピュラー史」(写真③)の紹介でした。戦前編10枚組と戦後編9枚組が日本ビクターから発売されたそうですが、その戦後編から曲名が進駐軍の電話番号と言う「A.P.O

500」を聴く事が出来ました。当時ジャズ音楽は貴重で月収の何倍もするほど高額であったにも関わらず、手に入れられたその情熱に感服しました。

DJタイムは同年生まれのマイルスとコルトレーン、二人の巨匠の名演から筆者がお馴染みの7曲を選んでみました。高校生時代に聴いていた深夜ラジオ番組のオープニングに流れていた「マイルストーン」(写真④)のタイトル曲は、軽快で今でも聴くたびに気分が高揚します。誰一人途中退場することなく、良質のサウンドのもと二人の熱演に耳を傾けておられました。

このようにスウィングから1950-60年代のメインストリーム、現代録音まで幅広くジャズが聴けるのが、このジャズデートの特色です。川崎市在住の方に加え横浜、東京都内からも参加され、最近の参加人数から見ても開催趣旨であるジャズファンの集いの場として定着しつつあります。(K.Tanagawa 記)



▲①Deja Vu/Archie Shepp Quartet ▲②Far East Suite/Duke Ellington Orchestra ▲③日本のジャズ・ポピュラー史 ▲④Milestones/Miles Davis Sextet

1月6日の軽音楽



●1月6日 13時30分～「軽音楽(Light Music)」ブラジルのフュージョン・グループ「アジムス」1960年代後半結成のブラジルのフュージョン・グループ「アジムス」。ラジオ番組「クロスオーバーレブ」のテーマとして一躍有名になった「フライ・オーバー・ザ・ホリゾン」を含む米国における初のアルバム「ライト・アズ・ア・フェザー」を聴いていきます。

連載25 4ビートに首ったけ

ちょっと地味なピアノトリオですが・・・でも、ジャズを聴くならこういうアルバムが楽しいですよ!



▲①Ray Bryant Trio/Ray Bryant Trio

ところで、紅白歌合戦は見ましたか? 私はこの何年か、紅白歌合戦を楽しみにしているんです。特に坂本冬美のファンで訳では無いのですが、お目当ては、そう、椎名林檎です。彼女の持っているポテンシャルやクオリティーって驚くほど高いですよ。彼女だけ他の歌手と違うレベルに居るように観てしまいます。今年はとうとう特別枠での出場になりましたから見ごたえのあるパフォーマンスに違いありません。宮本浩次のコラボ曲「獣ゆく細道」、楽しみです。ホーンセクションの使い方などはかなりカッコ良いので、ジャズファンの方にも是非聴いて欲しいです。

さて、ここからが本題。ジャズの流れを変えたり、新しいスタイルを生み出したわけでは無いけれど、聴いていただきた楽しいミュージシャンって一杯いますよね。私はそんな求道派では無く大衆派のミュージシャン達が大好きです。今回ご紹介させていただくのも、そんなちょっと地味なピアノトリオです。人によっては「これは名盤だ!」とか「これこそ隠れた名盤だ!」なんて言う場合もあるかも知れませんが、まあ、難しい事は抜きにして、どんな方でも楽しめるし、じっくり聴けば奥行きのあるアルバムを選んでみました。今回はフィラデルフィア出身のピアニスト、レイ・ブライアントのピアノトリオを2枚ご紹介いたします。彼のピアノはアーシーでゴスペルタッチなのですが、どこどなく都会的な洗練された印象があります。彼の特徴である強いタッチの左手と洒落たセンスの右手のバランスが絶妙なのでしょう。テクニックが凄いやという印象はそれほど無いのですが、軽快にスウィングして楽しく聴けるピアノトリオです。

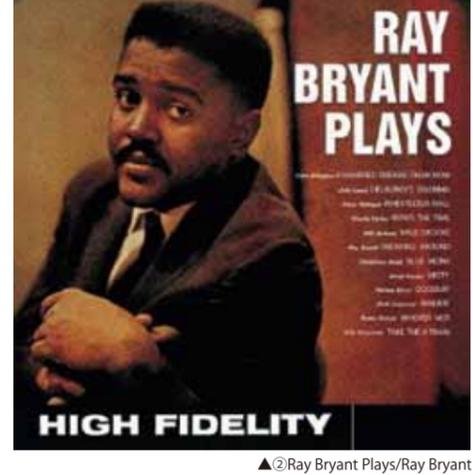
1枚目は1957年録音「Ray Bryant Trio」(写真①)。1曲目「Golden Earrings」は聴き逃さない名演奏ではないでしょうか?同名映画の主題歌がそうです。マイナー調で哀愁たっぷりですので、日本人好みの1曲ですね。どこどなく気品がある演奏で、貴婦人の耳元で金色のイヤリングがゆらゆらと揺れているのが目に見えてきそうです。続く2曲目「Angel Eyes」もマイナー調のスローなソノピアノで良い感じ。3曲目「Blues Changes」もお気に入りです。題名に「ブルース」と入っていますが、ブルース感には前面に出さずにソフィスティケートされたエレガントな印象

地元マスターのジャズ談話 BIANCA店主 長谷部 徹

なのが不思議です。この曲はレイのオリジナルなのですが、彼の良さが凝縮された1曲になっているのではないのでしょうか。その他にもMJQの「Django」など名曲がラインナップされているのですが、どの曲も奇をてらう事無く、自分のスタイルで淡々と演奏している所に好感が持てるアルバムです。

2枚目は1959年の秋に録音された「Ray Bryant Plays」(写真②)です。このアルバムは1枚目よりちょっとブルーがかつファンキーな印象でしょうか?黒人ピアニスト特有のコクが少し前面に出てきて、スイングなアップテンポの曲と少し珍しいバラードが並んでいます。その曲達が素晴らしい。ほとんどが有名なスタンダードナンバーです。いくつかご紹介すると・・・2曲目はセロニアス・モンクのブルース「Blue Monk」。さらっとした印象に仕上がっています。3曲目の名曲「Misty」は優しくゆったりと。5曲目はチャーリー・パーカーの「Now's The Time」。後半はマイルス・デイヴィスの「Bags' Groove」、マイルスで有名な「Walkin'」、ご存知「Take The A Train」、ベニー・ゴルソンの「Whisper Not」と続きます。どうです。これで楽しくないわけがありません。アルバムを通して楽しい音の粒がキラキラ舞っているようです。また、トミー・ブライアント(実兄)のベースがなかなか良いサポートをしています。スウィングするには乗りの良いベースが欠かせません。ジャズを聴き始めた方にも安心してお勧めできる1枚です。どうでしょうか?特に特徴や強烈な個性があるわけでは無いのですが、聴いていて楽しい感じが良いですよ。実はこういうアルバムを愛聴盤としているジャズファンが一杯いるんじゃないかな?私もそんなひとりです。

そうそう、話は戻りますが、椎名林檎、良いですよ。バックのメンバーがみんな腕利きなので、聴いていて飽きないです。



▲②Ray Bryant Plays/Ray Bryant

Essay 「くじら座」日記 牧野ケント

オレンジの街

魅力的な人とは、相手に興味を持つことができる人だと思う。それは会話ならば相手、音楽ならば聴き手や共演者といったところだ。クリエイターというものは一般的に独りよがりな側面があるもので、他の人の作品を素直に見られないときがある。しかし、そこには自分の成長に大きなスパイスとなるきっかけが多く盛り込まれている。他者を知ることで自らを知ることが、往々にしてあるからだ。つまりこの僕は、そんな魅力的な人に会いたくて、そして一緒に仕事をしていきたい。ライブ活動を十数年積み重ねると、出会った全員を覚えているということはない。ただ、「良いな」と感じた人のことは、何年経っても昨日のこのようにはっきりと思い出せるものだ。

2011年2月、僕はある一人のシンガー・ソングライターに出会った。その方は大手のプロダクションに所属し、規模の大きなレコード会社と契約をする職業音楽家だった。そ

の歌声はテレビの前で聴くこともでき、音楽には高い評価を集める人だった。当時ハタチそこそこだった僕は、「自分のライブなんて見てもらえないだろう」と思っていたけれど、ステージに立ってみると、ライブハウスの左隅にその人が見えた。お世辞にも良かったとは言えないステージだったと思う。それでも僕は必死だった。自分が歌い終わったあと、その人が立ったステージはまるで違う世界に思えた。ライブハウスのステージ、照明、その全てがまるで映画のように見えた。その日、初めて僕は素直になった。本気で聞きたちと接していかないと、僕は独りよがりになっていくかもしれない。ライブを見ながら、震える手を必死に握り締めてそう感じた。類は友を呼ぶ、と言う。本気の人には本気の人寄ってくるし、手をあげればそれなりの人が寄ってくるものだ。だから、僕は事あるごとにこの言葉を自分に言い聞かせている。その人にももらった言葉だ。

「頑張ってるお前認めへん奴嫌いやけど、頑張ってるお前はもっと嫌いやねん。また会いましょう」

Essay Addicted to Guitar-9 永瀬 晋

オルタネイトピッキング・アルペジオトレーニング

昨年はお世話になりました。今年もまたギターを始めたばかりの方にお勧めなギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。

昨年はいろいろな「コード」、「ブルースベースライン」、「オルタネイトピッキング」などの小ネタのお話をしてきましたが、今年も演奏レベルアップにお勧めなフレーズを紹介していきたいと思ひます。

前回は「オルタネイトピッキング」の強化フレーズを題材に1本弦を使ったエクササイズでしたが、今回はまた「オルタネイトピッキング」を使って多弦にまたがるアルペジオフレーズを紹介したいと思います。

早速譜例ですが、今回は1〜5弦までかなり範囲が広

いです。これをダウンアップ交互のピッキングで弾いていくわけですが、前回の1本弦と違い、常に弦移動が付きまといまふ。コツとしては一本弦に比べてピッキングに距離が出ますので、少し大き目のストロークをイメージしていただくとう良いかと思ひます。

先月のエクササイズと合わせて行うとかなり右手が鍛えられますので、是非トライしてみてください!。という訳でまた来月!



ソウリーヴ・ミュージック・スクール SouleaveMusic School http://souleave-music.com/ 元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分 チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992 AM8:00/PM22:00start

1月20日の Jazz Date

●1月20日 13時30分～「Jazz Date」(ジャズファンの集い) J.J.ジョンソン 9月に低音楽器の魅力その1(ジェリー・マリガン)のテーマで特集を組みましたが、低音楽器の魅力その2として今回はJ.J.ジョンソン(トロンボーン)を取り上げます。彼が発表したアルバムの中よりピックアップして聴いていきます。



▲Dial J.J./J.J. Johnson